

2022. 10. 17 事業者のためのリスクコミュニケーションセミナー

リスクコミュニケーション 取組事例

-日本製紙(株) 石巻工場-



©2020 日本製紙株式会社石巻工場

安全環境管理室
関根 彩

◆報告内容

- ・ 日本製紙 石巻工場の紹介
- ・ 日本製紙 石巻工場の
リスクコミュニケーション
 - 事前準備
 - 当日の状況
 - 実施後の感想

◆日本製紙 石巻工場の紹介

- 1938年（昭和13年）設立

- 石巻湾岸にある臨海工場

- 工場周囲状況

[西・南] 工業港

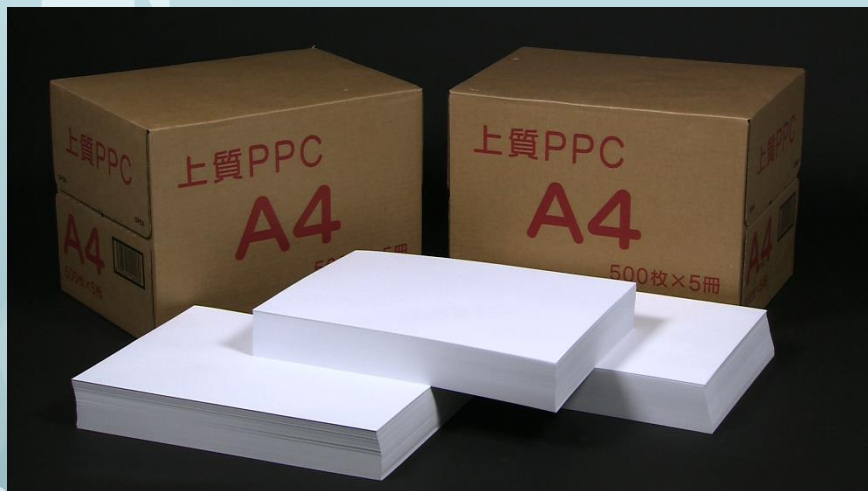
[北] 住宅地

[東] 復興祈念公園



◆ 日本製紙 石巻工場の紹介

洋紙事業



洋紙生産能力
約1,500 t/日

- 抄紙機 5台
- 塗工機 1台
- パルプ設備（原料5種）



◆日本製紙 石巻工場の紹介

エネルギー事業

石巻工場



ボイラー5基

- ・ バイオマスボイラ
- ・ 回収ボイラ (2基)
- ・ 微粉炭ボイラ
- ・ 重油ボイラ (予備缶)

タービン5基

日本製紙石巻エネルギーセンター(株)

石巻雲雀野発電所(バイオマスボイラ)

◆報告内容

- 日本製紙 石巻工場の紹介
- 日本製紙 石巻工場の
リスクコミュニケーション
 - 事前準備
 - 当日の状況
 - 実施後の感想

◆当社のリスクコミュニケーション (地域環境懇談会) 取組状況

- ・ **2007年より毎年開催、今回で14回目**
※東日本大震災の年は中止
- ・ **重要なコミュニケーションと判断し
新型コロナ感染拡大時も開催を継続**

◆ 新型コロナ感染拡大時の対応

<これまでのスケジュール>

~~工場見学（1時間）~~

懇談会（1時間）

- ・ 車内移動となる**工場見学を中止**
- ・ **広い会場**を使用し、席の間隔を空ける
- ・ 入場時の**体温測定、アルコール消毒**

◆事前準備

- | | | |
|-------------|-----------|-----------------------|
| 3ヶ月前 | | 社内日程調整、会場の確保 |
| 2ヶ月前 | | 案内配布、資料準備 |
| 1ヶ月前 | | スケジュール決定 |
| 3週間前 | | 出欠確認、名簿・名札作成 |
| 当日 | 午前 | 会場準備 |
| | 午後 | リスクコミュニケーション開催 |

◆配布資料



石巻工場の紹介

ごあいさつ

石巻工場は、豊かな水をたたえた北上川と海に囲まれ、恵まれた立地条件の中で事業を行っています。機械・化学・古紙パルプなどの多彩な原料を使い、印刷・情報用紙・紙器原紙と様々な紙を生産している他、セルロースナノファイバーや焼却灰を有効利用した製品を生産しています。生産活動に当たっては環境に対する影響を低減するため、環境保全活動を推進しています。

住所	宮城県石巻市南光町二丁目2番1号
操業開始	1940年6月
敷地面積	1,165,526 m ²
工場長	中村 真一郎
従業員数	617人 ※2021年10月1日現在
生産品目	微塗工紙、コート紙、書籍用紙、コミック用紙、文庫用紙、PPC用紙、紙器原紙、セルロースナノファイバー、CfFA



A3両面見開き (Word作成)

- ・ PRTRデータ
- ・ 大気,排水,廃棄物
5年間推移データ
- ・ 工場トピックス 等

◆当日の参加者

地域住民

(7町内会 × 各1~2名)

12名

石巻市

2名

宮城県

5名

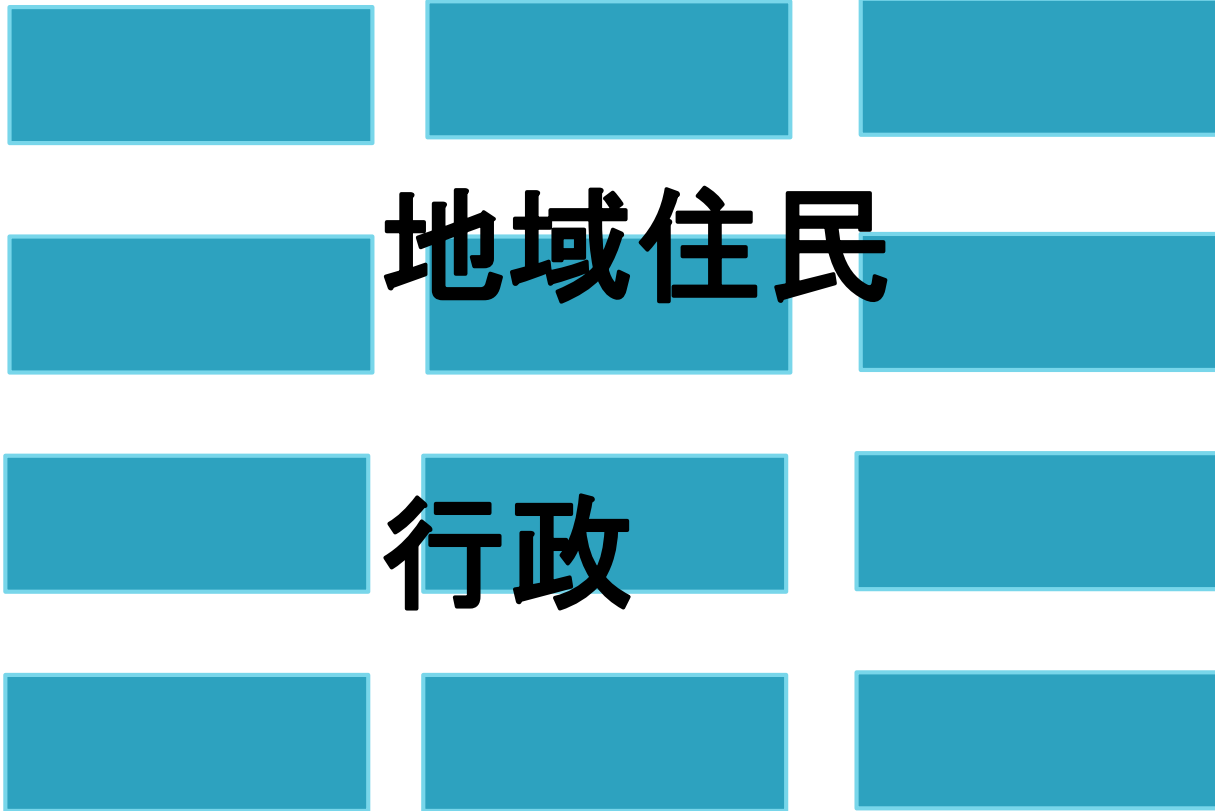
日本製紙

8名

◆座席

スクリーン

舞台



地域住民

行政

日本製紙

◆当日のプログラム①

2021年11月8日 16:00～17:00

- **工場長挨拶**
- **環境対策（PRTR,大気排水廃棄物）**
- **苦情・情報発生状況と対策**

◆当日のプログラム②

2021年11月8日 16:00～17:00

- ・ 石巻工場の今後と
日本製紙グループの取り組み
- ・ 防災・防火対策
- ・ 質疑応答

◆実施後の感想

- 工場の小さな変化について毎年情報を伝える機会ができる
⇒ 地域住民との信頼関係を構築
- 工場に関して気になることを率直に話せる関係ができる
⇒ 問題に対し早期の対策が可能

今後も定期的に行っていき